

令和6年度第1回徳島県地域公共交通協議会

1 日時 令和6年6月24日（月）午前10時から

2 場所 徳島県庁万代庁舎 10階 大会議室

3 議事

次の議事について協議した。

（1）令和5年度決算報告【資料1】

（2）令和6年度予算案【資料2】

※事務局から【資料1】～【資料2】について説明

以降審議

●（1）、（2）ともに承認された。

（3）徳島県地域公共交通計画の自己評価について【資料3】

（4）徳島県地域公共交通計画変更（案）について【資料4】

（5）令和7年度地域間幹線系統確保維持計画（案）について【資料5】

※事務局から【資料3】～【資料5】（参考資料含む）について説明

以降審議

●（3）～（5）すべて承認された。

（6）その他

意見概要

（委員）

- ・資料3の自己評価シートの「指標3-1 訪日外国人観光客向けフリー乗車券の販売枚数」や「指標3-2 企画乗車券等の販売枚数」について、とても良い実績が出ている。この実績が運行事業者に与える経済的な効果はどれぐらい大きいものか。

（事務局）

- ・経済的な効果を分析したデータは手元にないが、事業者の工夫の中で企画いただいたものや、公的な支援も入れながら公共交通機関の利用促進を図ってきたものが影響していると考えられる。
- ・一方で、公共交通機関の利用者については新型コロナウイルス感染症の5類移行により回復基調にあるものの、利用者がコロナ禍前まで戻りきっていないという状況があり、厳しい状況が続いている。

(委員)

- ・実態として、企画乗車券が商品として反響があって売れているという手応えはあるか。

(事務局)

- ・これまでも様々な取組をしてきているところであるが、どのような商品が利用者に受け入れられるのかというところを実証している部分もあり反響は様々である。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した現在において、どのような商品が利用者に受け入れられるのかを交通事業者とともに知恵を絞りながら、引き続き工夫を重ねていきたい。

(委員)

- ・価格や利用回数によってはすごくお買い得な商品かと思うが、そういう売り方も効果的であったという理解か。

(事務局)

- ・その理解である。

(委員)

- ・補足すると、キャッシュレスが導入されていないということも背景にあろうかと思う。
- ・最も売れているのは、スマホ提示で利用できる1日フリー乗車券で、県外のお客様では、特に空港リムジンバス経由のお客様がスマホで購入されている。
- ・キャッシュレスは導入コストが非常に大きい一方で、そこをどう考えていくかということが大きな課題だと考えている。
- ・2026年の春に向けてキャッシュレスの導入を進めるが、海外や県外のお客様ということも念頭に置いて、空港リムジンバスを先行してキャッシュレス導入するという方向で今動いているところである。

(委員)

- ・スマホで提示する乗車券という体験も、キャッシュレス化がなかなか進んでいない地域によってはすごく受け入れられやすいサービスなのかなと思った。

(委員)

- ・キャッシュレスについては、ICカードとスマホ提示の乗車券とで比較すると、ICカードの方が高速処理とセキュリティなどの面で優れているため、2026年春には全面的に路線バスに導入したいと考えている。

以上